

(学校番号 225) 令和4年度版「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」【大成中学校】

4月28日		
目標・策		
知識・技能	令和3年度全国学力・学習状況調査及び令和元年度市学習状況調査の自校結果より国語・数学の「知識・技能」において2pt向上させる。(令和4年度全国学力・学習状況調査の国語・数学・理科の「知識・技能」において全国平均を上回る。)	⇒ 「学習アプリ」等を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む。その際、生徒の学習履歴を確認し、つまづきや習熟度を理解し、個別最適な学習を提供できるようにする。
思考・判断・表現	令和3年度全国学力・学習状況調査及び令和元年度市学習状況調査の自校結果より国語・数学の「思考・判断・表現」において2pt向上させる。(令和4年度全国学力・学習状況調査の国語・数学・理科の「思考・判断・表現」において全国平均を上回る。)	⇒ 生徒が作品・レポート等に取り組む際、teamsの課題機能を活用する。その際、評価の観点を示し、生徒が思考したプロセスにコメントを付記して、評価する授業形態を増やす。また、パワーポイントの共同編集等の課題解決型の学習を複数人で取り組む学習も取り入れていく。
主体的に学習に取り組む態度	令和4年度全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。	⇒ すべての授業において、生徒とともに課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自力解決する場を設定する。また、授業場面や定期テスト後には自己の振り返りができる時間を設定する。

9月2日			
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
知識・技能	特になし	⇒	特になし
思考・判断・表現	特になし	⇒	特になし
主体的に学習に取り組む態度	特になし	⇒	特になし

8月29日	
全国学力・学習状況調査結果	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
<p>【成果】 ・令和4年度全国学力・学習状況調査の結果、3科とも全国平均に比べて上回っていることがわかる。これは、日頃から上記の取組を実践している結果だと推測する。また、生徒質問紙の「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という設問に対して、肯定的な意見が全国に比べて、20ptほど上回っていた。様々な教育場面で生徒が主体的に考え、学びに向かう体制を整えることができた。</p> <p>【課題】 ・令和4年度全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という設問に対して、肯定的な回答の割合は全国平均を下回った。また「将来の夢や目標を持っていますか」という問いに対しても肯定的な回答の割合は全国平均を下回った。より一層、生徒の自己有用感が高められるように、実生活に即した学習課題を設定するなど、より一層深い学びになるための授業改善に努める。 ・令和4年度全国学力・学習状況調査の国語「情報の扱い方に関する事項」及び「書くこと」では全国平均を下回った。日々の生活場面から、諸資料の読み取りや書く場面を増やしていく。</p>	

2月〇〇日	
さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

2月〇〇日		
成果指標に対する達成状況		評価(※)
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

3月〇〇日	
次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価

- A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)